

指導事例3 英語（第3学年）

学習指導計画

- 1 プロジェクトの目標 []内の記号は評価規準との関わりを示す。
 - (1) 英語版「観光案内パンフレット」作成を通して、基礎的表現を定着させ自己表現を奨励する。 [A1, A2, A3, B1, B2, D1]
 - (2) 共同学習を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 [A4, B3, D3]
 - (3) 地元の産業について理解を深める。 [D2]

2 目標の設定理由

英作文のトピックを、生徒たちの地元である「那須の観光地」とした。那須は有数の観光地であり、外国からの観光客も多数訪れる。そのような観光客を対象に、生徒たちの体験談を含んだ観光案内の配布を考えた。外国人の観光客に那須を紹介する活動を通して、生徒自身の地元理解になると考えた。また、相手を意識して書くことで、生徒の学習への動機付けにもなると考えた。

3 プロジェクトの評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
A1 自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使い書いている。	B1 伝えたい情報や考えを正確に書くことができる。		D1 文字や符号などを使い分ける知識を身に付けている。
A2 必要に応じて辞書などを活用している。	B2 伝えたい内容、読み手、目的に応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。		D2 地元の産業等を理解している。
A3 自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。			
(発表時の評価規準)			
A4 理解してもらえようように別の表現で言い換えたり説明して伝える工夫をしている。	B3 伝えたいポイントを整理して発表することができる。		D3 ジェスチャーや非言語的コミュニケーションの役割や使い方を理解している。

4 プロジェクトの指導計画

月	時数	学習目標	生徒の活動	評価規準との関わり	評価方法
10	1	・プロジェクトの目的を理解する。	・プロジェクトの趣旨を理解し5人程度のグループを作り、テーマを設定する。役割分担の決定。	D2	観察
11	1	・共同作業の趣旨を理解し協力する。	・観光案内や雑誌、情報機器を利用して各自のテーマについての情報を収集する。また、直接現地に赴き担当者や観光客にインタビューするなど、できるだけ「生」の情報を集める。	A1, D2	観察 ポートフォリオ
11	月中に取材する				
12	2	・基礎的な表現を定着させ自己表現を奨励する。	・入手した情報をまとめ、文章化する。 ・地図や写真、文章をレイアウトする。 ・文章、レイアウトを校正する。	A1, A2, B2	観察
	1			B1, D1	観察
12	1	・地元の産業について理解を深める	・班ごとに発表し、自己評価、相互評価、アンケートを実施する。	A2, A3	ポートフォリオ
	1			A4, B1, B2 B3, D2, D3	自己相互評価 アンケート

5 本時(最終日)の目標

自分の集めた情報や考えを整理して、聞き手に分かりやすく発表する力を養う。
発表者の述べた内容について、確認したり説明を求めたりして、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

6 授業実践(最終日)の指導過程

段階	学習活動・内容	生徒の活動	教師の指導・支援	評価方法
導入 ・ウォームアップ (10分)	・あいさつをする。 ・那須の観光地について質問する。	・あいさつをする。 ・挙手をして英語で答える。	・あいさつを通じ英語を話しやすい雰囲気を作る。	
展開 (30分)	・各班に分かれて発表準備をさせる。 ・「那須の観光地」の発表についての諸注意をする。 ・発表の模範を示す。 ・評価票を配付。 ・班ごとに発表させる。	・各班で役割を分担し音読練習をする。 ・発表の段取りを理解し、発表の準備をする。 ・自分たちの発表の参考にする。 ・各観点ごとに、発表者の評価の準備をする。 ・班ごとに発表する。発表者以外は発表者に集中し、評価票に基づいて評価する。	・机間指導をしながら発表準備の支援をする。 ・生徒が分かりやすく説明できるように支援をする。 ・発表例を示す。 ・評価の仕方を説明する。 ・発表しやすい雰囲気を作る。	・評価票で教師が班ごとに評価する。 ・評価票に基づいて自己評価・相互評価する。
まとめ (10分)	・反省と振り返り	・アンケートに答える。	・コメントをして、次回の活動へ向けて意欲を喚起させる。	・プロジェクトの振り返りをする。

指導と評価の工夫・改善点

共同学習(Cooperative Learning)を導入し、工程表型のシラバスを作成した。いつまでに取材、レイアウト、校正するかを考えた。さらに、制作の途中で共同で作業することを通して、人と人が協力してことばを学ぶ過程を大切にしたい。

「将来、きっと必要になるから学んでおこう」という学習観から「必要な時に、それに即応して学ぶ」という学習観を導入した。

「意味ある場面で意味ある言語活動」の視点から、ホテルの観光案内コーナーに作成したパンフレットを置いてもらうという前提で始めた。

情報機器(コンピュータ)を活用した。

単なる英語版のパンフレットにならないように生徒による手作りを奨励し、実際に取材したりする工夫を奨励した。

作成した観光案内パンフレットを相互評価と自己評価の対象にした。

作成段階で集めた段階的資料をファイルさせて、学習の振り返りができるように指導した。

【最初の授業時に配布したプリント】

私たちの地元、観光地である那須を外国人に紹介しよう!!!

私たちの地域社会である那須は、温泉をはじめ、ホテル、ペンション、レストランや様々なレジャー施設で有名です。これらの施設について外国から来た人たちにもっと理解してもらえるように、英語版の観光案内を作成したいと思います。つきましては、那須の観光案内や観光雑誌、パンフレット、情報機器（インターネットなど）を最大限活用したり、あなたの体験を載せたり、お店の人や観光客にインタビューしたりするなど、あなただけのオリジナルパンフレットを作成してください。

方 法： 那須の観光地からテーマを1つ選び、外国人に紹介する文を作る。
 4～5人のグループを作り、役割を分担する。
 インターネットや雑誌、自分の体験や調べたことなどの情報を集める。情報を的確に伝えられるよう英語に直し、A4版1～2枚程度にまとめる。
 自分たちや他のグループが作成したパンフレットを評価する。（自己評価・相互評価）

掲載内容： General Informationとして、住所、電話番号、営業時間、休業日、料金、駐車場を掲載する。
 写真や地図もあるとよい。
 体験談等を盛り込むなど、読み手が引きつけられる工夫を！

目 標： 地元である那須について理解を深める。
 相手に自分の思いを伝えられるようなコミュニケーションな英文を作る。
 他グループの発表を聞いて、そのできばえを評価する。

評価のポイント

グループ内で協力しているか	進んで情報を集めているか
英語のつづりや文法は正確か	指定した掲載内容が正確で充実しているか
工夫があって内容がわかりやすいか（レイアウトも）	観光地として行ってみたいくなる内容か

【教師用評価シートと教師による評価結果例】（A～CでAを最高とする。）

Group No.	Name	Preparation	Communication Skill	Attitude	Total	Comment
A		A	A	B	B	文句が多いが頑張った
		A	B	A	A	いろいろと取り組んだ
		A	A	A	A	よくやった
		A	A	A	A	よくやった
		A	C	C	C	もっとまじめに
B		B	A	A	A	準備をしっかりとやった
		B	B	B	B	準備をコツコツやった
		B	B	A	B	体験談等情報を集めた
		B	B	A	B	”
		B	B	B	B	はっきり話すとよい
C		A	C	B	B	現地まで足を運んだ
		A	B	B	B	よくまとまっていた
		A	B	B	B	大きい声だった

*評価ポイント

- ・ Preparation 事前の情報収集などの準備ができている。
- ・ Communication Skill 発表において、聞き手に要点がわかりやすく伝わっている。
- ・ Attitude 発表時の目線、声の大きさ、発音、抑揚などが適切である。
- ・ Total パンフレット、発表を総合的にみて満足できる。
- ・ Comment 評価項目以外で何か記載することがあれば記入する。

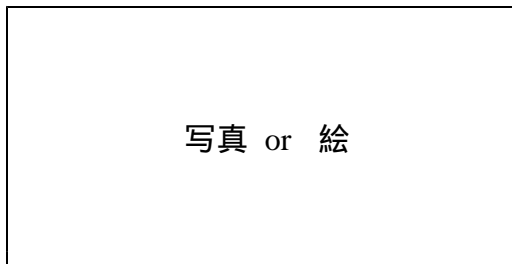
【プロジェクトの最初の時間に生徒に配布したプリント】

SAMPLE

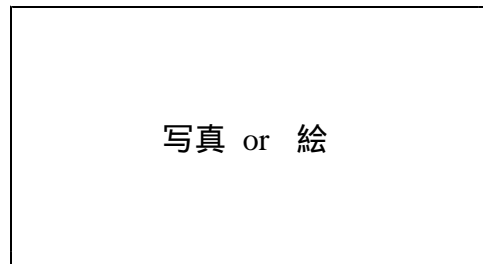
Virtual tours at Nasu-Kougen In Japan

Nasu- Kougen is one of the most popular resorts in Japan. There are many cottages , even the Emperors' cottage. One of the most popular attentions is the family farm , pasture and amusement park to you.

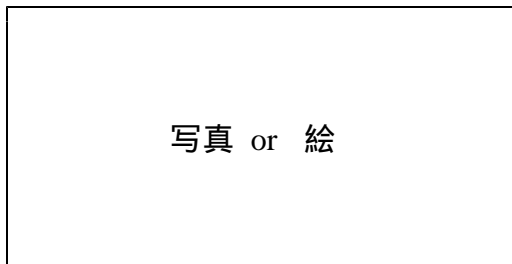
This is a famous pasture modeled on the scenery in Switzerland.



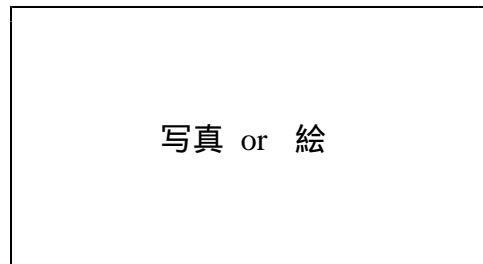
Shall we go for a boat ride?
Usually there is a cool wind blowing on the lake.



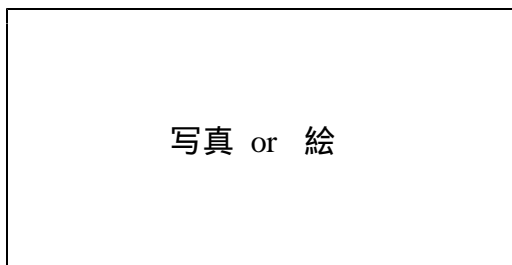
This is an ultra buggy.
You can ride it over any kind of terrain.



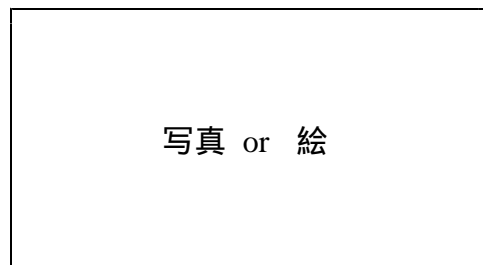
There is a Western-style railroad.



You can pet many different animals.



The deer dolls are very popular.



* If you have toddlers or infants, you should visit here. You have a lot of things to enjoy all day long.

General Information

Phone	(0287)-76-****
Place	*** ** Nasumachi
Traffic	It is 10minutes from Nasu IC
Bussiness hours	9:00 ~ 18:00
Regular holidays	Nothing
Charge	¥1,500
Parking	3,000 cars (No charge)

Itamuro Spa

A bath of health and greenery

The circumference map of a hotel



****, Momura, Kuroiso-shi call 69-**** (0287)

This hot spring is very healthy not only for the elderly but it can be used by everyone.

You can feel the surrounded greenery when you make the peaceful cross over the Nakagawa Bridge to the Itamuro Spa. Since it was built for local promotion and opened on September 6, 1991, its popularity has quickly spread.

The baths here are large and bright. There are handrails located all over the facility so that it is accessible to the elderly.

A Futonawa rope lowers you into a open air bath. Here water runs down a piece of bank making it easy to relax your body and thought.

Inside the hall there is a gym where you can work up a sweat and then relax your body in a traditional "Neyu" or sauna.



Traffic	Train = it is 30 minutes by JR Tohoku Line Kuroiso station from bus 35 minutes, Car = northeast way Nishinasuno Shiobara IC. Bus =It is 35 minutes from Kuroiso station by bus and car.
Charge	Adult = 400 yen Child = 200 yen 65 or more years old = 200 yen
Business hours	April—October =10:00 - 18:30 November- - March = 10:00 - 17:30
Regular holiday	Every other Monday and a public holiday
Bath	Indoors 2 (man 1 woman 1) Outdoors 2 (man 1 woman 1)
Nature of the water from the hot spring	An alkaline simple spring
Effect	The spring helps : Digestive organ disease Neuralgia Rheumatism High blood pressure Muscular pain poor blood circulation and hemorrhoids Joint ache Recovery from fatigue Healthy improvement from Bruises
Equipment	Stand Dining-room RESUTO room Sauna Training room, Conference room
Parking lot	50 spaces

考察・まとめ

今回、那須の観光地というテーマで観光案内パンフレットを作成したが、3ヶ月という比較的短い期間での活動の割には生徒たちは互いに協力してよく動き、完成に近いものがあったと思う。対象クラスは第3学年の観光に関連する学科であり、実習授業としてホテル実習や郷土観光実習など、多くの観光実習を行っている。そのため、那須にかなり精通している生徒が多く、情報収集は比較的スムーズにできた。しかし、英語に関しては苦手意識を持つ生徒が多く、集めた情報を英語にするときに予想以上に時間がかかった。日頃、授業では会話中心の語句・センテンスを学習しているため、英作文にはあまり時間をかけていないのが実状である。

1 課題への取り組みと評価結果

上記の通り、課題への取り組みは比較的スムーズであった。班の中には雑誌やインターネットなどの間接的な情報を収集するだけでなく、直接、現地に足を運んで情報を収集する生徒もいた。一方で班の編成や役割分担に手間取り、課題への取り組みに遅れがちな班もあった。いかにして主体的な学びへと導くかということが今後の課題と思われる。

生徒同士による相互評価と自己評価を導入した。いずれも個人ごとではなくグループ単位で行った。集計結果は下記の通りである。

【作品に対するグループごとの自己評価の集計結果】

Group	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	総合	コメント
A	5	4	4	4	4	4	
B	4	3	3	3	3	3	
C	5	5	4	4	3	4	
D	3	3	4	2	3	3	

【作品に対するグループごとの相互評価（A班による他3班への評価結果）】

Group	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	総合	生徒からのコメント
B	3	4	3	3	3	3	工夫がもう一つ欲しい
C	4	5	5	4	4	4	体験談がいい
D	3	3	3	2	2	3	レイアウトなど今ひとつ

* 以下の評価ポイントについて5段階で評価

- | | | |
|-----|-----------------------|-------------|
| 項目1 | 情報が正確で、充実している。 | (5・4・3・2・1) |
| 2 | レイアウトなど、内容がわかりやすい。 | (5・4・3・2・1) |
| 3 | 観光地として行ってみたいくなる内容である。 | (5・4・3・2・1) |
| 4 | 英文が正確である。 | (5・4・3・2・1) |
| 5 | 創意と工夫がある。 | (5・4・3・2・1) |

* 生徒が行った相互評価・自己評価は、完成作品について実施したものであり、準備段階及び発表に対する評価ではない。準備段階についての自己評価は、アンケート形式で実施し、活動に対するコメントや反省を自由に記入させた。

【アンケートからの生徒の感想】

- ・まとめるのが大変だった。
- ・英訳するのに時間がかかったけれど、誰かに見てもらうという目的がはっきりしていたのであまり苦にならなかった。
- ・もう少し長期的にやった方がいい。
- ・グループの班員が休みがちで、うまくできなかった。
- ・パンフレットにして実際に観光案内所に置いて欲しい。そうすればもっと素晴らしいものを作ろうという意識が強くなる。
- ・いい経験になった
- ・那須のことをわかってるようでわかっていなかった。
- ・普段、英作文についてあまり勉強していなかったので英語に直す作業が地獄だった。
- ・自分でもよく頑張った。
- ・イメージが湧かなくて苦労した。

2 今後の課題

(1) 共同学習の視点から

人と人が協力しあって学習するのが理想あるが、どうしても特定の生徒に仕事が集中してしまう。適材適所に仕事を分担し責任を持たせる工夫が必要であった。リーダーが育たなかった班は、班員の納得いく作品ができずに終わってしまう傾向がある。グループ分けにも工夫が必要である。

(2) just-in-time learning の視点から

「英語に直す作業が大変だった」という感想からすると、日頃の学習の重要性を生徒に気づかせることも大切であろう。しかし、アンケートにもあるように、目的をはっきりさせ、誰に対して表現するかを明確にした学習は効果があがることがわかった。常時、外部の目を意識すれば活動意欲も高まり英語学習に役立つと思われる。次回からは、地元の観光協会等に置いてもらえるような完成度の高いものが作れるようにしたい。また、利用した外国人の観光客に感想を求めたり、ニーズを尋ねたりしてフィードバックをする工夫が必要である。さらに、校内新聞やPTA新聞等への掲載も考えたい。そして、良い作品を役所や駅の観光案内インフォメーションに置いてもらうなど、生徒のやる気を高める工夫が必要である。

今後、自分で写真を撮影したり、地図を作製したりして掲載することが必要である。また、取り組んだテーマは温泉やレジャー施設に限られていたが、名所・旧跡及びお土産品の食べ物（御用邸チーズ、地酒、乳製品、ハム）についても取り上げ、生徒の試食の感想も載せていきたい。

(3) コンピュータの活用の視点から

Web上に載せて、海外の高校生とお互いの学校紹介・地元紹介や意見の交換へと発展させると、ますます、just-in-time 学習や authentic な言語活動を推進できると考える。教師がさらにコンピュータ技術を習得し、積極的に授業に活かすことが必要である。

(4) 評価の視点から

今回行った評価はグループによる相互評価と自己評価のみであった。作成段階で集めた資料や校正前の作品などをファイルさせたが、学習を振り返るという点では不十分で中途半端に終わった。ポートフォリオを有効に活用し、成し遂げた過程を評価することが今後の課題である。

(5) 英語を使うという視点から

プロジェクトの最初の2時間は英語を使う必要がないといった大きな問題点が残った。資料収集の段階から、生徒に英語を使用させる工夫が必要である。